

仁比そうへい比例候補が8日、島根、鳥取の両県に入り、自民党政治を転換する大きな力となる日本共産党への支持を訴えました。

梅雨あけ猛暑の中で熱こもる街頭演説

島根県 出雲市平田町と松江市で訴え

この日、仁比候補は、福岡から空路出雲市入り。例年より早く梅雨が明け、猛暑の中での訴えになりました。

出雲市平田町の小村市議宅前には、出雲市中心部からバスに同乗してきた人も含め100人を超える聴衆が詰めかけ、仁比比例候補とむこせ慎一選挙区候補の訴えに耳を傾けました。

仁比候補は、①国民の所得を増やして日本経済を立て直す提案、②TPP参加に断固反対し、食の安瀬と農林水産業、地場産業の発展、③原発再稼働を許さず、「原発ゼロ」に向けた政治決断、④憲法改悪に反対し、憲法を国民生活に生かすこと——など日本共産党の提案を紹介し、「比例代表での5人全員当選を」と日本共産党への支持を訴えました。

松江市朝日町(松江駅前通り)の交差点では、80人が仁比候補を出迎えました。中林よし子元衆院議員も駆け付けて仁比候補を激励。党躍進を誓い合いました。(写真)



初参加の人も目立った米子市、青年が足止めた鳥取駅前



米子市の街頭演説(写真上)には、150人余が詰めかけ、「初めて街頭演説会に参加しました」という人も目立ちました。児童手当差し押さえ裁判をたたかっている原告のAさんから日本共産党に期待するメッセージが寄せられ高橋敬幸弁護士が訴えるなど、要求をもとにした広がり日本共産党の役割が際立ちました。



鳥取市で仁比候補は、岩永なおゆき選挙区候補とともに、医療生協後援会の「つどい」に参加。会場の椅子が足らなくなるほど盛況で、党躍進への熱気が溢れました。

夕方の鳥取駅前での街頭演説には、約40人が参加。岩永、仁比両候補の熱い訴えに、最初は冷やかさぎみだった二人組の青年も真剣に聞き入り、法定ビラを持ち帰っていました。また、マスコミも注目。NHKのカメラも取材に来ていました。

仁比そうへい比例候補が山陰路を駆ける

ネットでつなぐ「仁ヒット・トーク(>_<)」14日午後8時～9時
若者と仁比さんの熱い議論をネットで生中継します